

平成30年8月28日
我孫子市商業観光課

農産物直売所アンテナショップ跡地の活用におけるサウンディング型市場調査
対話の実施結果について（概要）

1. 対話の概要

農産物直売所アンテナショップ土地の活用に向けた事業者公募に向けて、サウンディング型市場調査として対話を実施しました。

- ◆日 時：平成30年6月25日（月）から28日（木）まで
- ◆場 所：我孫子市役所 会議室

2. 対話実施までの経過

- ◆平成30年4月16日（月）から6月15日（金）まで：対話へのエントリー
- ◆平成30年5月8日（火）・9日（水）：現地説明会
- ◆平成30年6月25日（月）から28日（木）まで：対話の実施

3. 対話の参加事業者

- ◆12事業者（県外1者、県内4者、市内7者）

4. 対話の実施結果

①＜事業提案＞

土地利用のコンセプトや用途としては、さまざまな提案が寄せられた中、手賀沼観光施設誘導方針に合致するとともに、特に飲食店などの観光客をもてなす施設の提案が多くありました。

②＜事業形式＞

事業形式としては、12事業者のうち8事業者が（将来的な買い取りも含めて当面は）定期借地方式を希望していることが確認でき、3事業者はいずれの方式も対応可能との意向を確認できました。

③＜既存建物＞

既存建築物については、残存させての活用と除却して新築する意向とがほぼ均衡していることがわかりました。

④＜観光に資する工夫＞

観光に資する工夫としては、周辺観光スポットとの回遊性を視点としたアイディアなどが出された一方、直接水辺に接していないことが“水辺”の特徴を生かすことにはハードルになるという考えも示されました。

⑤＜付帯施設＞

付帯施設については、有料駐車場には否定的な考えが多く、ハケの道から手賀沼ふれあいラインにつながる歩行者用通路の設置については、肯定的な反応が多くみられました。

⑥<市内事業者の活用>

市内事業者の活用については、可能な範囲で取り組みたいとの考え方が大勢を占めました。

⑦<その他>

その他としては、次のような要望などが出されました。

- ・公募の条件は応募しやすいようなるべく緩やかにしてほしい。
- ・物販もできるようにしてもらえないか。
- ・水辺に施設そのものを立地（河川のオープン化）させることができないか。
- ・遊歩道の整備やあびバス路線の延伸などを検討してほしい。

5. 今後の予定

平成30年10月以降：跡地活用事業者の公募・選考

平成31年4月以降：跡地活用事業者による整備・活用